

平成 24 年 6 月

七つとは七羽のことよカラスの子  
特大の緑蔭枝を拵げきり  
七つ八つひとつ加えてココナッツ  
一陣の風ぼうたんの紅ゆらす  
紫陽花を額に入れば額紫陽花  
世界地図めき旅果ての日焼あと  
望遠鏡で覗けばあばた月美人  
恋の文闇にひとふで書きして螢  
織姫や一夜妻とも呼ばれたる  
本来は盗の字を書き火取虫  
顎までの日陰つくるが夏帽子  
一列に揃はぬ出走草競馬  
鈴蘭の花ふれあへば鈴の音  
おしぼりの冷たさ夏の季語とせむ  
痛くはないか子燕口を開ききり  
手の甲が好きで吸ひつき蝸牛  
焼酎はしょっちゅう飲んで夏の季語  
新調のハンカチ汗を吸ひきれず

## 蠟燭の半分溶けて六月尽